

## 『消防設備士第1類 令和6年 下巻』 に関するお詫びと訂正のご案内

『消防設備士第1類 令和6年 下巻』の内容について誤りがありましたことを、心よりお詫び申し上げます。以下の通り訂正致しますので、お手持ちの本書に加筆訂正をお願い致します。

ご迷惑をおかけ致しまして誠に申し訳ございません。

よろしくお願ひ申し上げます。

### 初 版

P97 【2】【3】 ▶▶正解&解説	誤	【2】正解 A : 長ニップル（ニップル） B : 径違いエルボ C : ストレートエルボ D : クロス
	正	【2】正解 A : 長ニップル（ニップル） B : 径違いエルボ C : <b>ストリートエルボ</b> D : クロス
	誤	【3】正解 C : 正名称…プラグ E : 正名称…ストレートエルボ G : 正名称…ユニオン H : 正名称…クロス
	正	【3】正解 C : 正名称…プラグ E : 正名称… <b>ストリートエルボ</b> G : 正名称…ユニオン H : 正名称…クロス
P98 【3】 ▶▶正解&解説	誤	Eのストレートエルボは、一端におねじがあり、他端にめねじがある。一方、エルボは両端にめねじがある。
	正	Eの <b>ストリートエルボ</b> は、一端におねじがあり、他端にめねじがある。一方、エルボは両端にめねじがある。

P188 【1】 ▶▶正解＆解説	<p><b>誤</b></p> <p>[設問3 正解]</p> <p>適・不適… [適] 理由…定格点におけるポンプ全揚程が39m以上で、かつ、吐出量が300L/min以上 のため。</p> <p>◇ポンプの吐出量（定格吐出量320L/min）は、<math>n</math>に150L/minを乗じて得た量 (300L/min) 以上の量とすること（以下、規則12条7号ハ）。</p> <p>◇ポンプの全揚程（定格全揚程40m）は、次の式（省略）により求めた値（39m）以 上の値とすること。</p>
	<p><b>正</b></p> <p>[設問3 正解]</p> <p>適・不適… [不適] 理由…ポンプの吐出量が定格吐出量の150%である場合（480L/min）における全 揚程が、定格全揚程の65%（26m）以上でないため。</p> <p>◇ポンプの吐出量（定格吐出量320L/min）は、<math>n</math>に150L/minを乗じて得た量 (300L/min) 以上の量とすること（以下、規則12条7号ハ）。</p> <p>◇ポンプの全揚程（定格全揚程40m）は、次の式（省略）により求めた値（39m）以 上の値とすること。</p> <p>◇以上、2つの基準は満たしているが、正解の理由で示す基準は満たしていない。（追加）</p>
P207 【1】	<p><b>誤</b></p> <p>2. 設問1の計算式において、<math>h_1</math>、<math>h_2</math>及び<math>h_3</math>は、消防法令上、<u>どう</u>ように表されているか、それぞれ答えなさい。</p> <p><b>正</b></p> <p>2. 設問1の計算式において、<math>h_1</math>、<math>h_2</math>及び<math>h_3</math>は、消防法令上、<b>ど</b>のように表されているか、それぞれ答えなさい。</p>